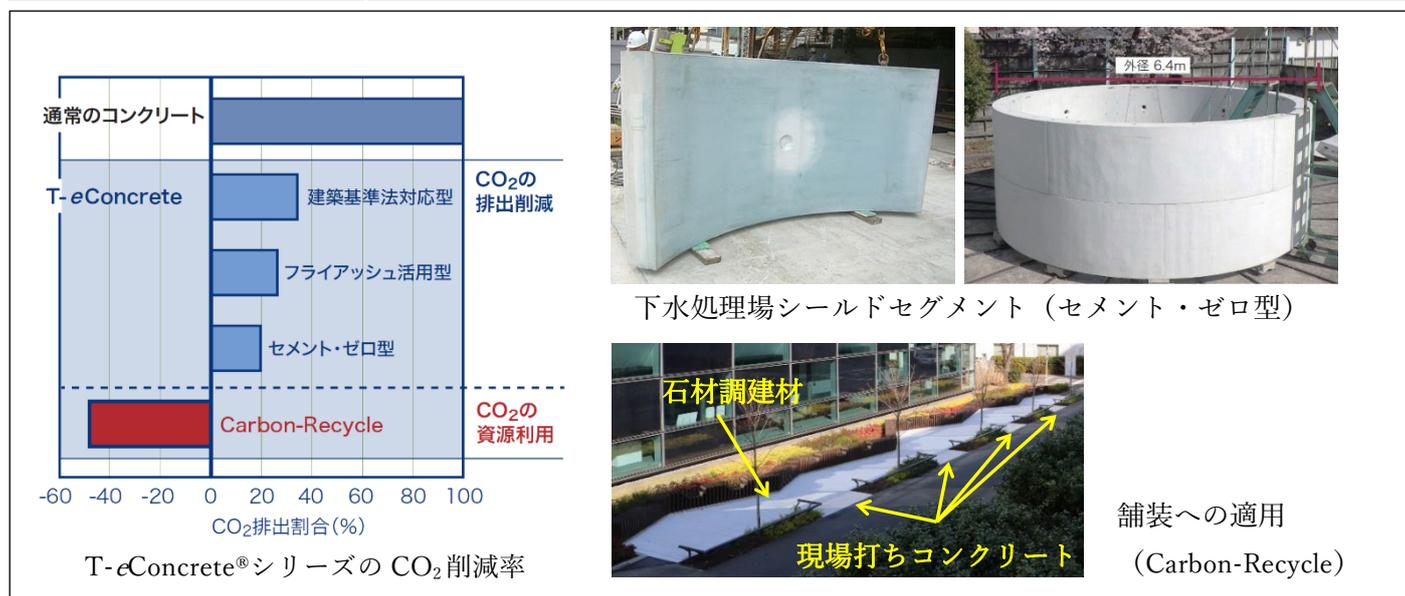


FJISS 温室効果ガス削減技術概要情報

企業名	GHG 削減技術カテゴリ	対象施設等	FJISS 登録年月
大成建設株式会社	低炭素材料 吸収・固定化技術	処理場, ポンプ 場, 管路	2022年6月

項目	内容
商品(製品)名	環境配慮コンクリート:T-eConcrete®シリーズ
特徴	4種を用意。Carbon-Recycle はセメントを使用せず、高炉スラグと独自の反応材でCO <sub>2</sub> を吸収した炭酸カルシウムと骨材を固化する。CO <sub>2</sub> を大量に吸収し、排出量がマイナスになる。他の3種はセメント使用量を“ゼロ”または低減して産業副産物を活用し、CO <sub>2</sub> 排出量を削減する。
仕様	① Carbon-Recycle: セメントを使わず、さらにCO <sub>2</sub> 吸収型炭酸カルシウムを混合 ② セメント・ゼロ型: セメントを使用せず、高炉スラグにより固化 ③ フライアッシュ活用型: 高炉スラグに加えてフライアッシュを有効利用 ④ 建築基準法対応型: JIS A5308 に適合し、建築躯体に適用できる
推奨規模 設置個所等	処理場やポンプ場に用いる現場打ちコンクリートあるいはコンクリート製品、管路等のシールドトンネル用プレキャスト製品(セグメントなど)
省エネ、CO <sub>2</sub> 削減性能等	通常のコンクリートに対するCO <sub>2</sub> 削減率/Carbon-Recycle: 118~149%, セメント・ゼロ型: 75~80%, フライアッシュ活用型: 61~81%, 建築基準法対応型: 約60%,
導入実績	下水処理場シールドセグメント(セメント・ゼロ型): 1件 下水道以外では、舗装コンクリート, 土間, 建築基礎, PCa壁, 石材調建材など
技術認証登録等	—
詳細情報 URL	<a href="https://www.taisei.co.jp/t-econcrete/">https://www.taisei.co.jp/t-econcrete/</a>
問い合わせ先	技術センター 社会基盤技術研究部 材工研究室 045-814-7221 (代表)



注) 本技術の内容は、企業からの情報をそのまま掲載しており、FJISS が保証するものではありません。